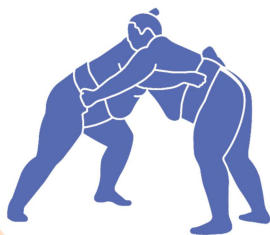




にのみや・せいじゅん
二宮 清純

1960年、愛媛県生まれ。スポーツ紙や流通紙の記者を経て、フリーのスポーツジャーナリストとして独立。著書に『勝者の思考法』（PHP新書）、『ワールドカップを読む』（KKベストセラーズ）、『プロ野球「衝撃の昭和史」』（文春新書）、『広島カープ最強のベストナイン』（光文社新書）、羽生善治との共著『歩を「と金」に変える人材活用術』（廣済堂新書）、『森保一の決める技法』（幻冬舎新書）、『対論・勝利学』（第三文明社）など多数。

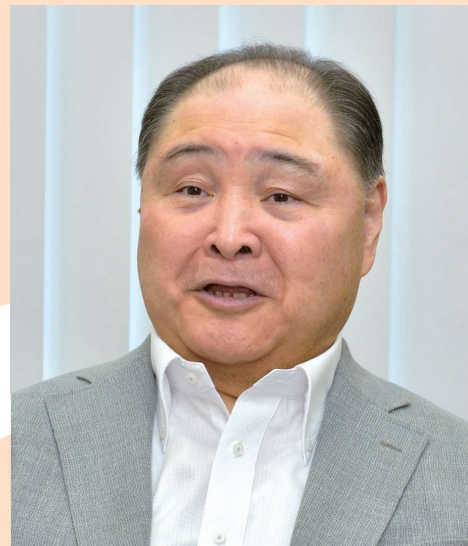


琴風 浩一
二宮 清純

知れば知るほどおもしろい相撲の世界
元尾車親方の琴風浩一とスポーツジャーナリスト・二宮清純が、大相撲の魅力をつぶり語り合う。いま、連日満員御礼の土俵上でどのような戦いが繰り広げられているのか、過去の名力士にまつわるエピソード、知っておきたい相撲の文化や歴史など、豊富なエピソードが満載！



相撲を楽しむ技術



ことかぜ・こういち
琴風 浩一

1957年4月26日、三重県津市出身。本名・中山浩一。71年、中学2年で上京して琴櫻の内弟子となり、やがて佐渡ヶ嶽部屋に所属。同年の7月場所で初土俵を踏む。77年1月場所で新入幕、78年1月場所で関脇に昇進。81年9月場所で初優勝、場所後に大関昇進を果たす。83年1月場所で2度目の優勝。85年11月場所3日目終了後に引退を発表。その後、年寄「尾車」を襲名し、尾車部屋を創設。豪風や嘉風などの関取を育てた。2012年の日本相撲協会理事就任後は、巡業部長や事業部長を歴任し、相撲界の発展に尽力した。24年5月に日本相撲協会を退職。通算成績は87場所で561勝352敗102休。

— 目次 —

第1章 土俵の上で強くなるということ

安青錦の強さと課題／豊昇龍と千代の富士の相撲の違い／立ち合いの一步が勝敗を分ける／大の里の武器は何か／怪我から復活することの難しさ／親方がかける言葉の重み ほか

第2章 一門と部屋——相撲社会の仕組みを知る

一門としての意識を醸成するもの／各一門がもつ伝統と特色／「しこ名」はどう決まるのか／最重要の鍛錬「四股」「鉄砲」「すり足」／十五日間の本場所とどう向き合うか ほか

第3章 相撲の伝統と革新

皆で支え合う相撲のシステム／土俵上の環境を整える／巡業の意義／相撲のすそ野を広げるために／勝敗を見極める難しさ／相撲の品格とは何か／力士の収入事情 ほか

● 下記に必要事項をご記入いただき、お近くの書店にお申し込みください。 ※インターネットからもお求めになれます。

相撲を楽しむ技術

琴風 浩一
二宮 清純

ISBN: 978-4-476-03445-5 C0075 体裁: 四六版・並製、176ページ 2026年7月上旬販売予定 定価: 1,870円(税込)

冊

フリガナ		
お名前	電話番号	-
〒 ご住所		
株式会社 第三文明社 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-23-5 https://www.daisanbunmei.co.jp TEL.03-5269-7145 FAX.03-5269-7146		

書店印

※タイトル・価格・発売日等は予告無く変更になる場合があります。